

福島第一原子力発電所現地確認報告書

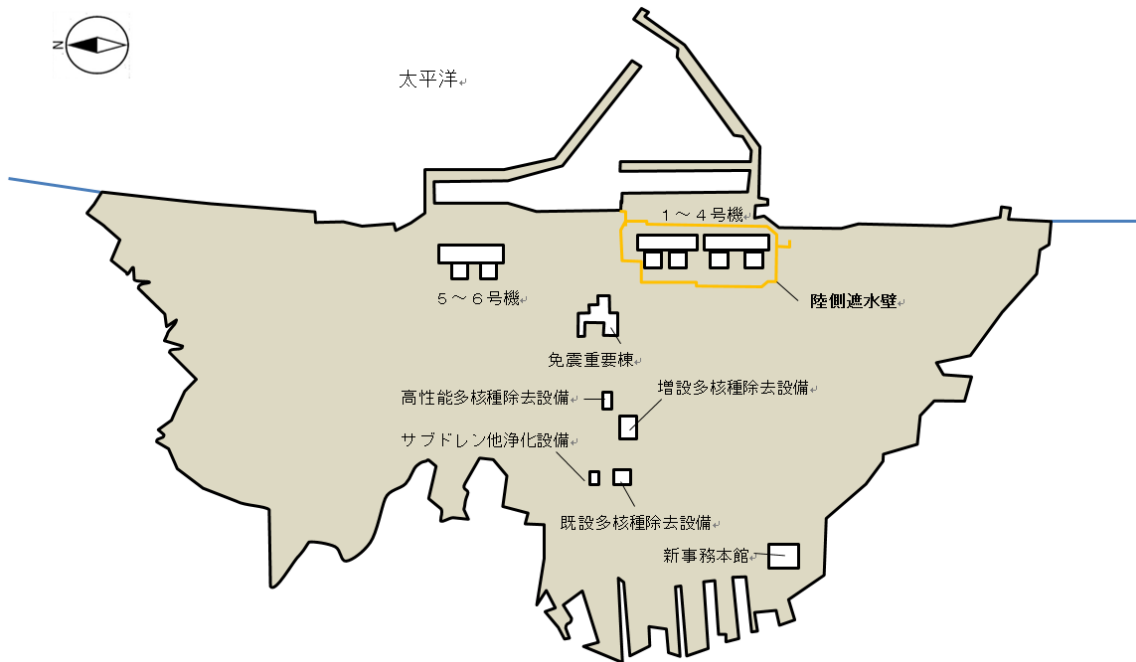
- 1 確認日
令和5年5月17日（水）
- 2 確認箇所
陸側遮水壁融氷設備
- 3 確認項目
陸側遮水壁融氷設備の設置状況

4 確認結果の概要

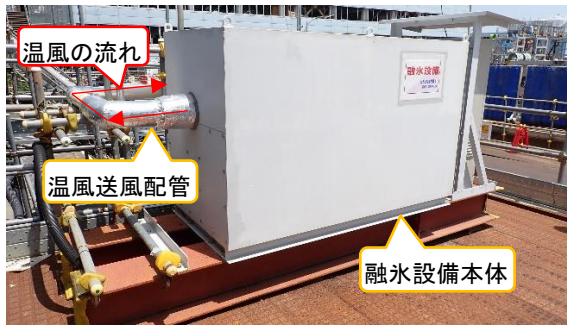
令和4年1月16日、陸側遮水壁凍結管からブラインが漏えいする事象の発生を受けて東京電力が原因を調査したところ、当該漏えい箇所は凍結管と周辺部材（ヘッダー管等）が密集している環境であり、凍結管及び周辺部材への着氷による干渉により凍結管継手部に外部応力が加わったことで当該継手部配管の一部に亀裂が生じブラインの漏えいが発生したと推定された。

再発防止対策として、温風を使用して着氷を抑制する設備が導入されたことから状況の確認を行った。（図1）

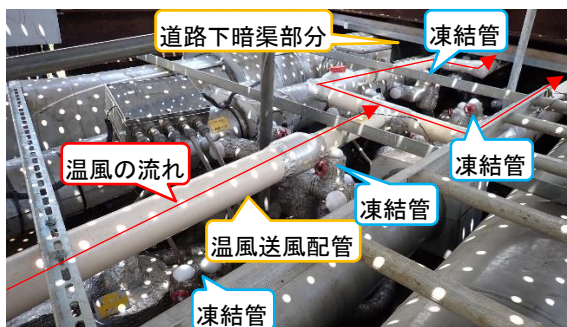
- ・陸側遮水壁の設備近傍に設置されている計10機の融氷設備のうち8箇所の状況を確認した。
- ・融氷設備から凍結管に向けて温風送風配管が敷設されていた。（写真1）



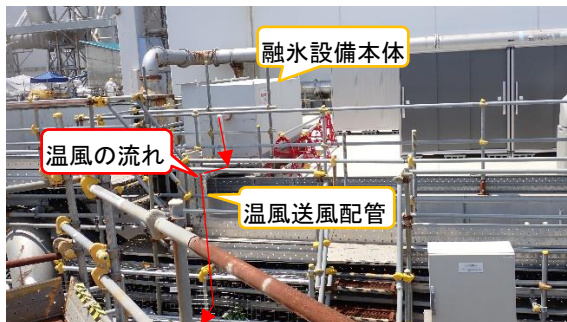
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



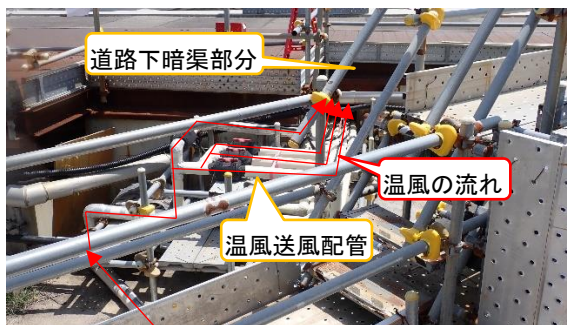
(写真 1 - 1)
1号機原子炉建屋西側（山側）
に設置された融氷設備の設置状
況



(写真 1 - 2)
道路下暗渠部分に向けて敷設さ
れた温風送風配管の設置状況



(写真 1 - 3)
4号機タービン建屋東側（海
側）に設置された融氷設備の設
置状況



(写真 1 - 4)
道路下暗渠部分に向けて敷設さ
れた温風送風配管の設置状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。